



2017年度第1回「LSC相談員研修」

2017年8月9日(水) 奈良県労福協(奈良県労働者福祉協議会)主催で「ライフサポートセンター職員及び相談員研修」を開催し、ライフサポートセンター相談員6名、県労福協3名、連合奈良より7名が参加した。



奈良県労福協の松岡隆業務執行理事

毎月、相談内容の報告でリピーターの方が多く、中でもメンタルヘルスでは大変ご苦労をおかけしております。本日は東元先生に講義をいただき、相談業務に活かしてもらいたい。



連合奈良の西田一美事務局長

最近では史上最長の台風5号が発生しましたが、これまで自然災害の後被災者、救助活動ボランティアの方々がメンタルダウンなどの状態に陥ることも多い。自然災害が頻発している中、そういった関係のメンタルヘルスにも活かして行けるよう本日の研修で学びたい。

テーマ「メンタルヘルスの事例的研究」

講師に、奈良県中和保健所 精神保健福祉相談員 主任主査 東元まさみ氏を招き「メンタルヘルスの事例的研究」をテーマにライフサポートセンター奈良・南和の職員及び相談員研修会を行った。

神経疾患とは、統合失調症、うつ病、双極性障害、妄想性障害、人格障害、発達障害、高次脳機能障害。

統合失調症(陽性症状) 幻覚、妄想、体感幻覚、被害妄想

統合失調症(陰性症状) 感情の平板化、意欲低下、ひきこもり

統合失調症の経過

前兆期 イライラ、不眠、不安感、食欲不振、集中できないなど
(発症前に何らかの兆候がみられることもある)

急性期 幻覚や妄想、不安感、恐怖感、興奮、奇異な行動など
(周囲の関心に影響、本人に病識がない)

休息期 疲労感、意欲減退など
(ものごとに取り組むにはまだ難しい時期)

回復期 気持ちにゆとりが生まれ、周囲への関心が増していく
(リハビリテーションを進めて社会復帰へ)



気分障害 うつ病、双極性障害、気分変調障害

うつ状態の症状例

寝つきが悪い、または朝早く目覚める。
夜中に目覚めると再度寝付くことが困難。
思っているよりも長く寝すぎる。
普段より食べる量がかなり増減。
とにかく監視委気持ちが続く。
自分の欠点についていつも自分を責める。
イライラ、ソワソワして落ち着かない。
自殺や死についての考えが頭から離れない。
物事に集中できなかったり、決断ができなかったりする。
これまでに楽しめていたことへの興味が皆無。

